

情 報 公 開 文 書

研究の名称	妊娠期の魚介類および ω 3系多価不飽和脂肪酸摂取と児の精神運動発達との関連（エコチル調査）
整理番号	R2018007 （臨 30-7）
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦
研究の概要	【研究対象者】 エコチル調査（2011 - 2017 年）参加に同意された方とお子さま 100,144 組 【研究の目的・意義】 胎児期において、ドコサヘキサエン酸（DHA）は脳の正常な発達に不可欠であります。妊娠後期ではその需要は最大となり、この時期に母親からの DHA の供給が不足するとその後の乳幼児の神経発達に影響を及ぼすことが知られています。そこで本研究では、児の発達評価、精神運動発達遅滞の有無（医師による診断）、睡眠パターンと、お母さんの魚介類および ω3 系多価不飽和脂肪酸摂取量（魚介類や植物油の一部）との関連を調査します。 【研究の方法】 国立環境研究所内のエコチル調査コアセンターが、エコチル調査（2011 - 2017 年）のうち、出産前からお子さんが 3 歳になるまでにご回答いただいた質問票の回答、及びカルテから転記された情報を、匿名化した上で本学に提供します。それらの情報を、本学で解析・評価します。 【研究期間】 研究期間：2018 年 5 月 17 日～2025 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報とは削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	妊娠期における魚介類および ω 3系多価不飽和脂肪酸摂取量、出産時年齢、喫煙、飲酒、出産歴、妊娠合併症の有無、母親の既往歴、教育歴、婚姻状況、世帯収入、母親の体格、母体の妊娠中の体重増加、周産期の運動習慣、妊娠合併症、妊娠期間、分娩時の異常、新生児の計測（体重・身長・頭囲）、新生児の身体異常、児の発達評価（0.5～3 歳）、医師による精神運動発達遅滞の診断（0.5～3 歳）、睡眠パターン、児の保育所通所、児の寝る場所、児のアトピー性皮膚炎の有無、登録しているユニットセンター、児の生まれ月など
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL:076-434-7277 FAX:076-434-5023 E-MAIL aktsuchi@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 土田 暁子・助教